

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム寿生の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）
 デイサービス

日時： R8年 3月 26日 15時00分～ 15時40分

会場： 寿生苑 会議室

出席者
 （人数）

利用者代表	0人	有識者	3人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	出雲市職員	1人
その他（事務長、管理者、介護リーダー2名）			4人

1、利用者様状況報告（3月23日現在）

利用者数：桜棟 9名 梅棟 9名（男性 1名 女性 17名）

介護度分布：桜棟 要介護 1：4名 2：4名 3：1名 4：0名 5：0名
 梅棟 要介護 1：3名 2：4名 3：1名 4：1名 5：0名

平均介護度：桜棟 1.7 梅棟 2.0 全体平均 1.8

平均年齢：桜棟 91.0歳 梅棟 91.2歳 全体 91.1歳（最高齢 105歳 最年少 84歳）

待機者：21名

入退所：1名寿生苑へ移られ退所
 1名在宅から入所（家庭の都合で短期の予定）

在所期間：1ヶ月～19ヶ月

2、事故報告

梅棟で午前中体操をしている最中、ボール運動のために職員がボールを配っている最中に椅子から立ち上がって転倒された。左大腿付け根の痛みが強く、救急搬送となり、骨折があるため入院となった。

入院などの場合、すぐに退所ではなく、外泊扱いとして1か月程度はお部屋をキープできる。その間に状態を把握して、GHへ帰れるように支援するが、GHでの生活が難しいとなれば次の退院先について相談していく方針がある。その場合部屋代は必要となるので、ご家族の希望を確認する。外部からショートステイの希望があれば空床利用として使ってもらえることのできる、その場合もご家族の了解を得る。

今回もショート利用の許可は頂いているが、現時点ではそういうケースはない。

3、活動状況報告

- ・家だよりの作成は継続中。ご意見等あればいただきたいと思います。
- ・壁の写真の貼り出しは環境整備担当の職員が作成している。写真希望のご家族へはデータで渡したりしている。
- ・利用者様と一緒にホールの壁に季節の壁画を作成している。ちぎり絵や折り紙、端切れアートなどでコツコツ作成している。
- ・病院玄関に作品展示も行っていて、3月は干支の壁画を展示している。

普段の活動

- ・ラジオ体操や棒体操、嚥下体操、リハビリ職からの助言のあった個別の機能訓練の実施。
- ・テレビ体操（YouTube）を見ながらの体操されている。
- ・家事作業全般、おやつ作り、縫い物、壁画作り（折り紙・ちぎり絵など）、歌、塗り絵等のレク、散歩や誕生会、買い物なども行っている。
- ・希望される方は自宅へ外出（独居だった方）して必要なものを持参される。（先日はグラン

ドゴルフの道具や花などを持ち帰られた。)

行事報告

1月 正月会

お神酒と年末についてのお餅でぜんざいを作り、白菜のお浸しなどでお茶会を行った。また、福笑いやカルタなどで昔のお正月気分を感じてもらった。

2月 節分会

鬼を段ボールで作成して豆に見立てた紙の玉を投げる豆まきを行った。その後、デイの職員扮する“福の神”に登場してもらって一緒に写真を撮ったりしたので利用者様の笑顔が見られた。

3月 ひな祭り会

小さなお雛様を作ったり歌を歌って、手づくり甘酒や桜餅で和やかなお茶会を行った。着物を着てもらうことも考えていたが、デイサービスと重なってしまったので、別の機会にと思っている。

行事予定

4月 お花見～天気の良い日に出かけたいと考えている。ある利用者様から「桜の下でお弁当を食べたい」との希望もあったので、実現すると良いと思っている。

5月 家族会・運営推進会議

4、感染対策等について

現在、利用者様にインフルエンザやコロナなどの感染は起こっていない。

面会について

現在、居室で3人まで、30分、小学生以下も可能となっているが、咳など体調の悪い方には面会をご遠慮いただいている。

5、外部評価について

外部評価は今年度4月6日（年度が変わってしまったが）ということになった。すでにご家族様のアンケートはお渡ししており、返答いただいたのではと思っている。施設からの自己評価などの資料も送り、あとは当日を待つだけとなっている。

自己評価の中で施設としてアピールしたい事を記入する所があるが、これまではフィッシュ哲学や目標管理の取り組みなどを記入していた。今回はそれに追加して理事長、事務長、看護部長、管理者での経営会議を毎月行って、現場の意見を直接経営者に伝えることができることを入れた。細かいこともしっかりと聴いていただけるので安心して働けるのではないかと感じている。

来年度はまた免除申請をしたいと思っている。

6、介護職員募集について

これまであまり退職者がいなかったが、継続雇用や常勤からパートへの移行、パートさんの家庭の事情で退職、また産休・育休もあり、人員確保について検討中。良い方をご存じであればご紹介いただきたい。

7、意見交換

<事>短期利用の予定とあるが、どういう経緯で利用となったのか？

<管>寿生の家の日サービスをご利用の方で、紹介があった時からこの時期に1～2か月ご家族が不在になるので、空きが出れば不在になる間だけでも入所できるとありがたいとのことだった。たまたま、その時にグループホームの方でADLが低下して入浴が困難になっていた方の相談を寿生苑にしていたので、その方が移られるタイミングと合ったため入所となった。

<有1>事故報告について、昨日の集団指導の中でも事故が多いのがグループホームという話があった。体の動きを気にしながらやっておられると思うが、危険認識が低い方が多いので大変だが見守ってほしいと思う。

デイサービスに通っている方はグループホームに入りたいと思っている方も多いと思うので、空きがあれば声をかけてもらえるとありがたい。

<有2>職員研修の中で人権研修というものが流行っている。寿生の家ではされたことがあるか？

<管>接遇や倫理については行っているが、人権についての研修はしたことはない。こういった内

容になるのか？

<有2>例えば、利用者に尿失禁があった場合、布パンツでは都合が悪いのでと介護する側の都合ですぐ紙パンツを履かせられる。それも男性・女性問わず白い同じ紙パンツ。そうする場合に本人の了解をとっていたのか？ということがあるが、寿生の家ではどうか？

<介リ>数回の失禁ですぐ紙パンツにすることはない。様子を見て、頻回ならパットの使用や軽失禁パンツなどを検討する。それでも難しくなってきたらご家族に紙パンツの相談をして使用を開始する。費用の問題もあるので対応は検討する。しかし、本人に了解は取っていないと思う。

<有2>どうしても介護者側の都合で介護の方法を決めてしまう傾向にあると思う。本人を大事にすること、それが大事ということ。今後、紙パンツも柄ものやチェックなど普通の下着のようなものが出てくるので、本人も抵抗なく使用しやすくなるのではと思う。

<家1>自分の母も以前骨折して手術⇒リハビリ病院⇒老健⇒グループホームという経過をたどった。グループホームに来るまでは妄想や不穏になることも多かったが今は落ち着いている。面会に来ると楽しく活動した話をしてくれる。何か起こった時に家族だけでは判断できないことも多い。話し合って結論が出せると良いと思う。

<有3>介護度を見ると平均が2.0と低いが認定の期間が4年と長くなっている場合もあり、その間に状態が低下してくることがある。在宅だと限度額を広げてサービスの幅を広げるということもあるが、入所の場合だと料金に影響する。どうされているか？

また、先程の模様のある紙パンツが出てきたら在宅の方や女性の方は選択肢が広がり、抵抗感は減ると思う。

<管>状態が悪化しても積極的に変更申請はしていない。やはり料金に関係するので。それでもこれまでに要介護1の方が状況的に要介護4か5という状態になられ、期間も2年くらいあった時にはご家族に相談して変更申請を行った。期間が長すぎるので変更申請は難しいと思う。

<地1>気候も良くなって、桜も咲き始めた。利用者さんも出かけて気分転換してほしいと思う。

<地2>独居の方が自宅へ帰られたということだが、そういうときは職員さんが付き添われるのか？自宅では本人が家の中で必要なものを取りに入られるのか？

<管>今回はずっと前から“家の横の甘夏かんを採ること”、“家の小屋にあるグランドゴルフの道具を持って来ること”が希望だったので家の中には入っていないが、必要ならそうなると思う。一度に以前からの要望を叶えた形になった。

<事>理事長との経営会議については、施設も古くなり修理のお願いなどすぐに対応してもらえていると思っている。先日も雨が壁から中に入り、居室の床に流れ出るということが起こり、すぐ修理ができた。その部屋の利用者様には迷惑をおかけした。今後ともこういったことがあると思うので、できるだけ早く対応したいと思う。

<市>特に意見・感想なし。

<管>来年度も奇数月の第4木曜日に行っていきたい。月末や年度末のお忙しい中ではあるが、ご参加をお願いしたい。多くの方の意見を聴きながらしっかり対応していきたいと思っている。

以上